



東京赤坂ロータリークラブ
Weekly Report

2012~2013年度クラブテーマ
会長 尾関 武男

Rotary Club of Tokyo-Akasaka

赤坂

「僅かなことにも手を差し伸べよう、そして信頼と絆」
Give a hand to even to the small things. Build trust and bonds.

●本日の例会/ 2013年 3月 1日 第1245回
クラブフォーラム:「クラブ活性化について」

●前回報告/2013年 2月 15日 第1243回例会

卓話: 「最近の中国、東南アジアのビジネス環境」
三菱UFJ技術育成財団
元常務理事兼事務局長 末繁 英雄 氏



卓話紹介: 西澤会員

社会奉仕委員会: (橋本委員長)

明後日の日曜日に兼ねてから計画致しておりました陸前高田市立第一中学校の運動場整備支援が完成いたしましたので落成贈呈式を現地で執り行います。当クラブを代表致しまして尾関会長始め 10 名の会員が参加致します。当日は陸前高田 RC から千田会長始め会員の方々・第一中学校の佐々木校長・鵜浦父兄会代表・生徒 30 名・父兄 20 名が参加致します。また、報道関係も取材されて新聞報道される事と成っております。皆さんには改めて週報特集号でご報告致します。

国際奉仕委員会: (松本委員長)

韓国公山城ロータリークラブとのマッチンググラントについてご報告いたします。ロータリー財団本部へ申請していた 18,750 ドルの承認がおりました。当クラブとしては、上期で集めた寄付金 3,500 ドルをロータリー財団を通じ公山城へ送金され、完了となります。

出席報告: 会員 40 名 / 出席 23 名 欠席 17 名

ゲスト: 末繁英雄(卓話)

ビジター: 平井正修(東京 RC)、

レトレ ロトック(東京 RC)

計 3 名 (順不同・敬称略)



東京赤坂ロータリークラブ

No. 1137 / 2013. 03. 01

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

慶事披露:

土屋 東一 君
(2月 13 日)



2月 22 日 地区大会の様子

2月 22 日 (金)
本会議



(下) 本会議
クラブ紹介



地区大会出席報告:
橋本、飯島、入沢、穂苅、小林、村山、西澤、大日方、尾上、小原、尾関、清水、関、高須、田村、吉田 (計 16 名)

友愛の広場



●次回予告/ 2013年 3月 15日 (金) 第1246例会

卓話: 東京都済生会中央病院院長
高木 誠 氏

※3月 8 日(金)は、休会です。
(ANA インターコンチネンタルホテル東京が全館貸切のため)

「国際ロータリーテーマについて」（2月15日）

RI のテーマとは、RI 会長から毎年発表されるロータリー・メッセージの事です。このテーマはロータリーヤー年度を通じて、奉仕の実践にあたりまして最も重要なものです。テーマは会長の抱負を端的に物語るとともに、そのロータリーヤー度の進路を示すものでもあります。RI 会長は在職年度中に国際ロータリーで尊守する適切なテーマを選ぶことが出来ますし、選ぶように奨励もされています。

テーマが発表されるのは、前年度中に開かれる国際協議会において発表されます。国際協議会とは、一言で言えば、ガバナーエレクトの研修会です。全世界のガバナーエレクトが一堂に会して、国際ロータリーに関する色々な事を勉強したり、意見交換をいたしますが、この席上で次期 RI 会長によって RI の新プログラムの説明とともに、テーマが発表されます。ちなみに次年度のテーマは 2014 年 1 月に米国サンディエゴで開催される国際協議会で発表されます。

また RI テーマは活用すべき唯一のテーマです。プログラムを強調するやり方として「手続要覧」には地区大会や、その他ロータリアンと接触する場で紹介されます、とあります。さらに「RI テーマは活用すべき唯一のテーマであって、他のテーマの使用は控えなければならない、という事を RI 地区とクラブの全役員の注意を喚起する」とも記述されております。

しかば RI テーマにどのようなテーマがあったか象徴的なものを列举いたします。

従来日本人 RI 会長のテーマでは、1968~69 年度東ヶ崎潔氏「参加し敢行しよう！」でした。2 人目の日本人 RI 会長 向笠 廣次氏（1982~83 年度）は「人類はひとつ世界中に友情の橋をかけよう」でした。

そして、今度 2012~13 年度は日本人 3 人目の RI 会長 田中 作次氏です。「奉仕を通じて平和を」です。

直近の RI テーマは、2005~06 年度「超我の奉仕」・2006~2007 年度「率先しよう」・2009~10 年度「ロータリーの未来はあなたの手の中に」・2010~11 年度「地域を育み、大陸をつなぐ」・2011~2012 年度「ここの中を見つめよう 博愛を広げるために」・そして 2013~2014 年度は「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」です。

（研修委員 橋本年男記）

「規定審議会」（3月1日例会）

“例会の開催を 2 週に 1 回とする”。このようなルールを各クラブが自由に決めることはできるのでしょうか。今のところこれはできません。例会の運営などに関するルールは、ロータリー・クラブ定款、およびロータリー・クラブ細則に定められています。これらを決めるのが規定審議会です。国際ロータリーの立法機関として 3 年ごとに国際大会とは別に理事会の定める日時、場所で開かれます。今年はちょうど 3 年目にあたりますので、4 月にシカゴで開催される予定になります。

地区内のクラブを代表して代表議員が 1 名ずつ選ばれて審議にあたりますが、審議会の 2 年前に開催される年次地区大会において選ばれます。また、規定審議会の立法案の提出は 2 年前の 12 月 31 日です。議案はクラブあるいは地区から提出されたものと RI 理事会提案のものがあり、膨大な数になります。あらかじめ起草委員会で整理され、制定案および決議案として上程されます。前者は国際ロータリー定款・細則、標準ロータリークラブ定款（組織規定）の改正に関するもの、後者はその他のものとなっています。規定審議会の決定はそのまま国際ロータリーの決定となります。所定の手続きを経て提出された一定数のクラブからの異議申し立てのない場合には直後の 7 月から発効します。決議 23-34 はロータリーの歴史の中でもきわめて有名な決議ですが、1923 年の 34 番目の決議であることを示しています。

ちなみに今年 2013 年の立法案は 199 項目（制定案 150、決議案 49）、A4 で 385 ページにもなります。今年提出されているものの中には次のようなものがあります。「元クラブ会員の 2 度目の入会金を免除する件

（提案者：第 3060 地区、インド）として、標準ロータリー・クラブ定款を次のように改正するものです。

（手続要覧、253 ページ）第 11 条入会金および会費…あるいは本クラブに再入会する本クラブ元会員は、2 度目の入会金の納入を義務づけられないものとする。
…

今年は出席規定の免除やメークアップの改善に関わるものが目立ちます。以前は、例会を 2 週に 1 回にするとか、さらに少なくしようなどの案が多数提出されていたのを記憶しています。

（研修委員会副委員長 村山公士記）

2月 15日(金) / 7件 14,000円 累計 769,000円 多額の寄付を有難うございました。（敬称略）

尾閨武男/未繁さん本日の卓話よろしくお願い致します。西澤民夫/未繁さん、本日の卓話楽しみにしています。河邊さんご苦労様です。土屋東一/誕生日祝いありがとうございます。河邊さん、またもニコニコご苦労様です。村山公士/連休に秋田に行ってきました。ものすごい雪でした。吉岡琢磨/河邊さんニコニコご苦労様。日曜、陸前高田よろしくお願いします。小林博茂/飯島幹事は今日来てますか？A型インフルに皆様気をつけましょう。河邊幸夫/皆様ニコニコありがとうございます。河邊幸夫/皆様ニコニコありがとうございました。